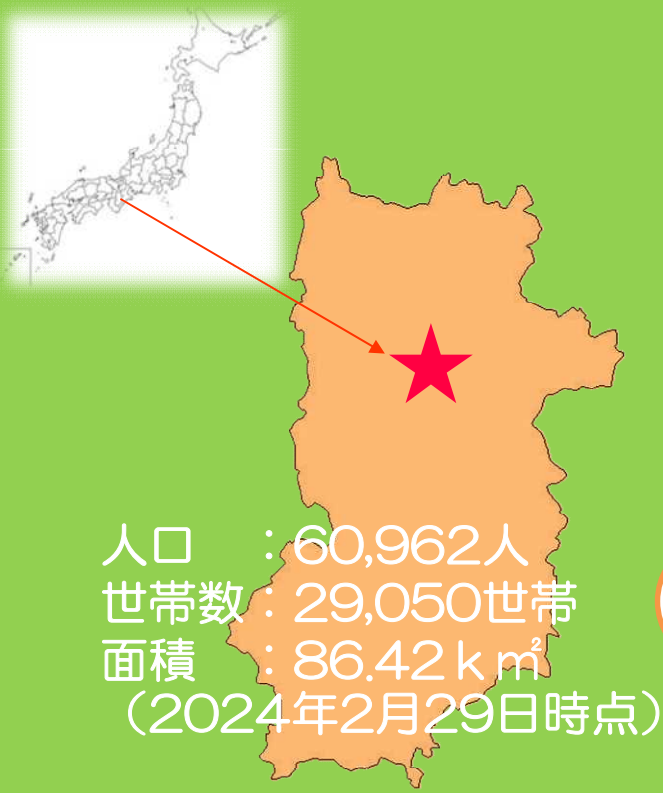


『自然との共生(オーガニックビレッジ)』 『支え合い(well-being)』 『地域ブランドの創造』によるまちづくり



奈良県天理市



【課題】
急激な人口減少
少子・高齢化



日本
最古の道



文化財

利根早生柿



日本最古
の神社



スポーツ



自然資本の持続的利用による ネイチャーポジティブ地域経済の創造

耕作放棄茶畑を
活用した
オーガニックな
お茶の生産



製品にできない
茶の木や間伐材
を利用した
炭づくり



環境

有機農業によるオーガニックビレッジの実現



落ち葉
もみ殻

有機
農業

有機
堆肥

落ち葉堆肥、
牛糞堆肥、
馬糞堆肥づくり



大和ルーージュ、
さつまいも、
あじまるみ大根、
ハーブの栽培

学び



生物
保護活動



経済

産官学連携の 観光・農一体による経済の活性化



稼げる農の創出

若手農業者活動組織天理市4Hクラブが行うチャレンジファームでは、「スマート農業システム」を導入、様々な農作物の栽培を行い、ブランド化、販路拡大を目指す。



体験型観光事業の推進

柿農家の高齢化と後継者不足による人材不足解消のため、滞在型の観光を伴う労働力を得るとともに地域経済の活性化を図る。

社会

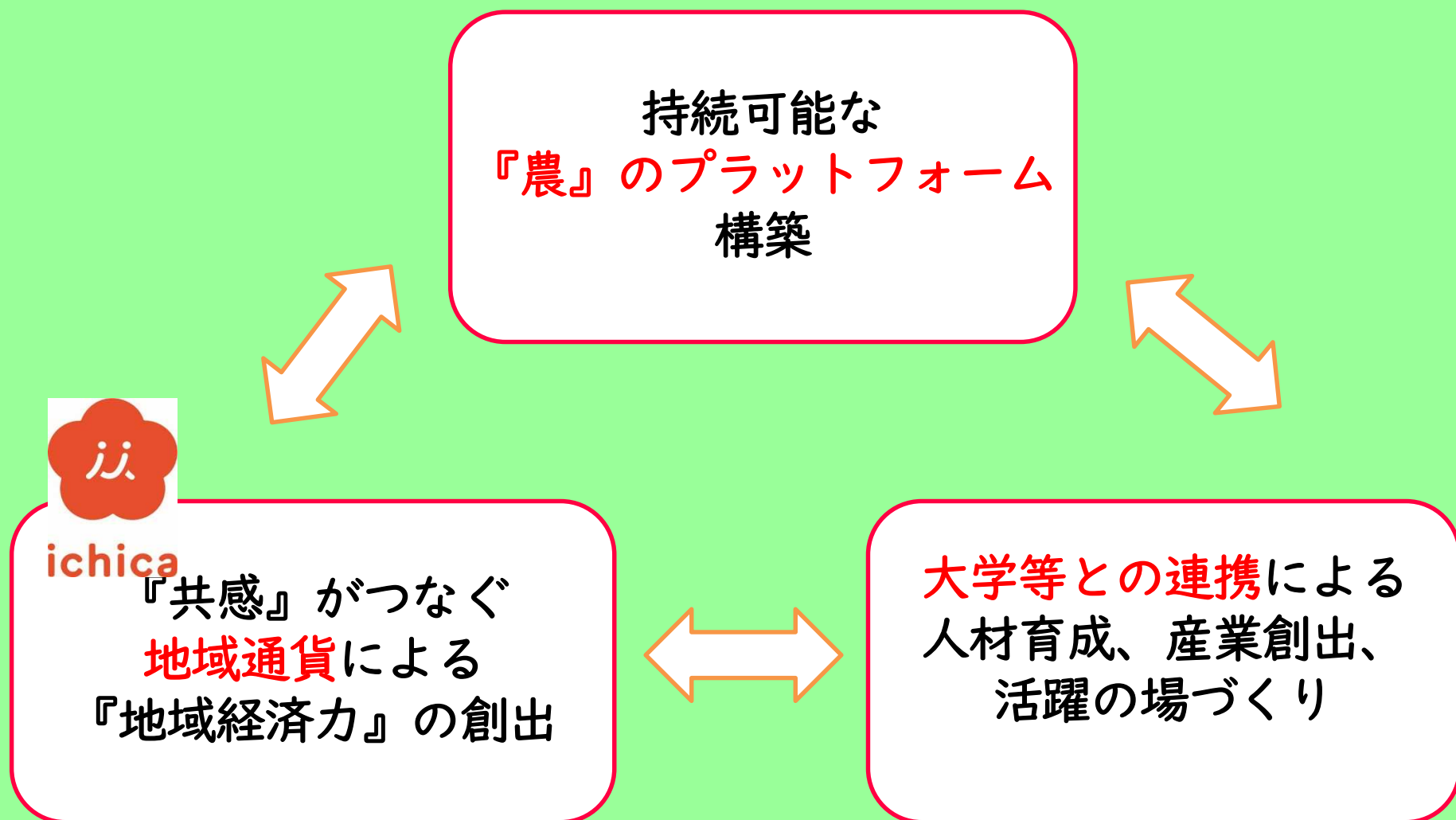
市民共感型まちづくり -まちの豊かさの創造、well-beingの向上-



食品を通じた支えあいの取組み

「おてらおやつクラブ」によるひとり親家庭への支援の他、フードバンク天理・天理大学学生との協働によるフードドライブを実施。
食品ロス削減を通じた支え合いの仕組みにより、『共感』によるwell-beingのまちづくりを推進する。

里山発！環境共生による地域ブランド力向上プロジェクト



大学等との連携による人材育成、産業創出、活躍の場づくり

天理市

×(共創)

天理大学

×(共創)

(株)モンベル



天理大学サテライトキャンパス
(講義・講演会、リカレント教育)
観光コンシェルジュ
(学生コンシェルジュ・観光案内・情報発信)
市民交流

「学び」の場

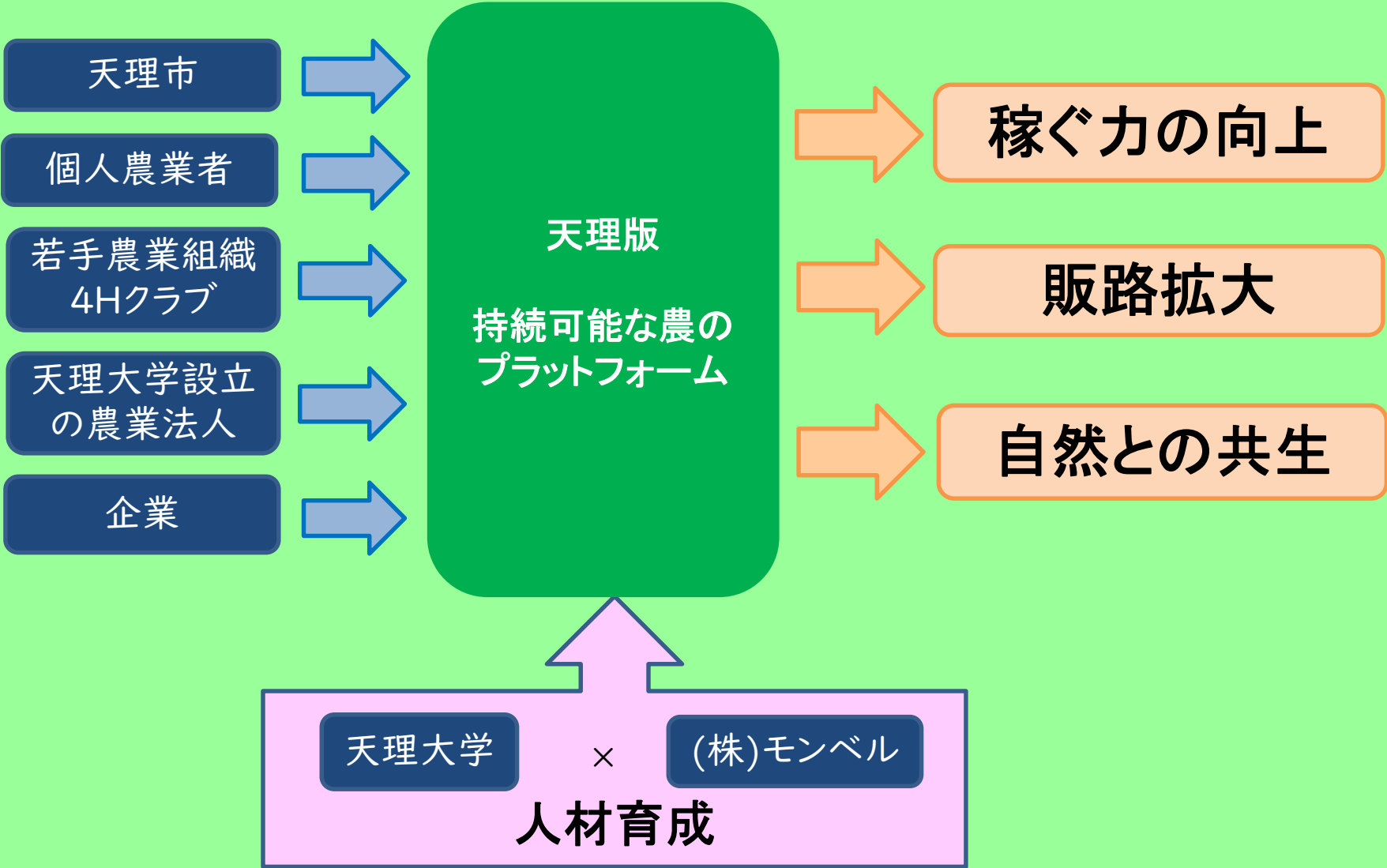
マルシェの開催

天理大学×モンベル
(アウトドアショップ(用品販売))
カフェ
(地場産品を使ったメニュー提供)

「実践」の場



持続可能な『農』のプラットフォーム構築



『共感』がつなぐ地域通貨による『地域経済力』の創出

天理市

×(共創)

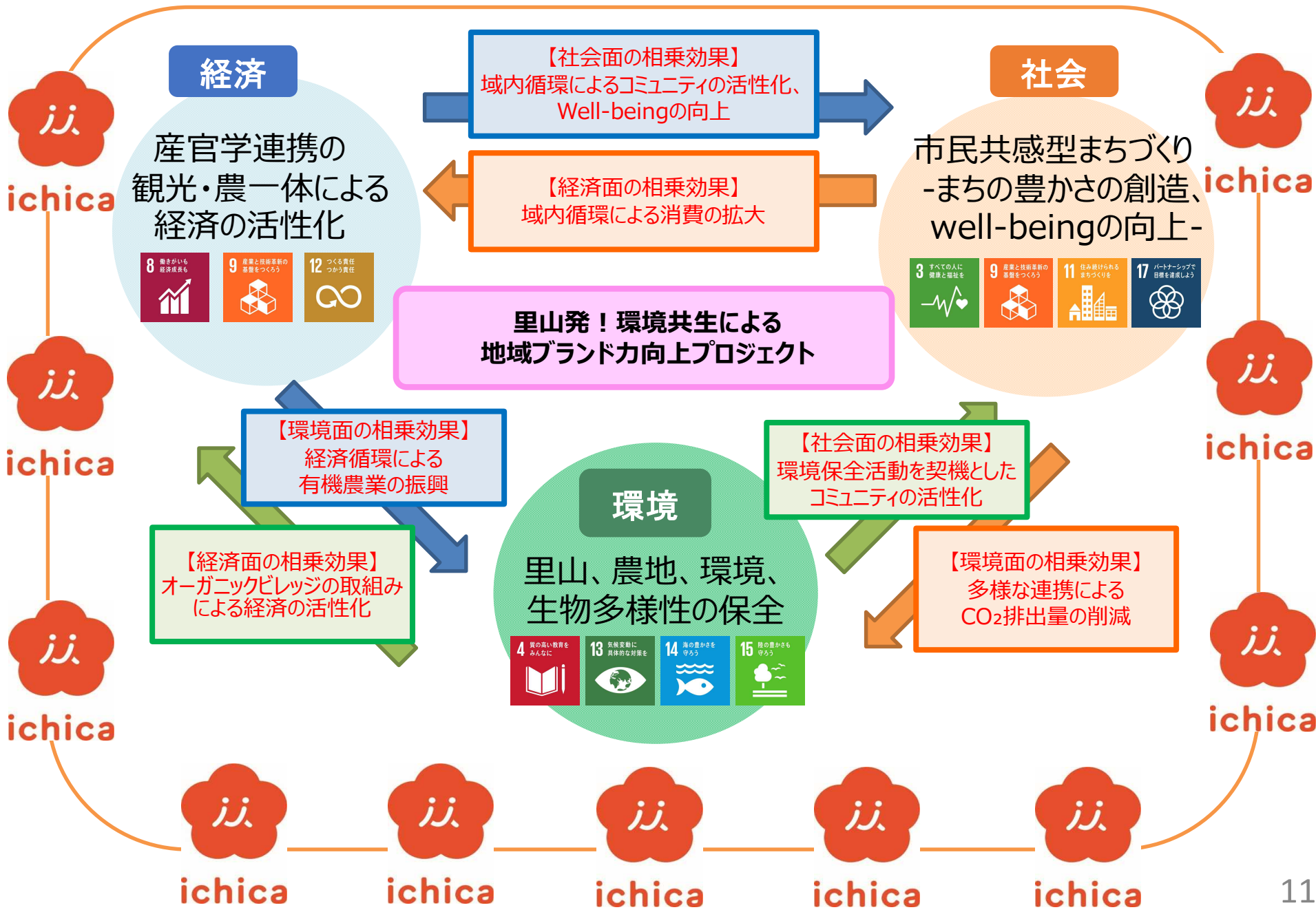
NTT西日本

有志の加盟店がイチカによる収益の一部をこども食堂など地域の支援団体へ寄附を行う「イチカプラス」。

日常の買い物や食事が、支援へとつながる取組みが独自の付加価値となっている。

今後、環境活動などにもイチカポイントを付与することで、イチカを使うことが地域の支え合いと、より良いまちづくりにつながる『共感』により消費活動につなげる。





地域通貨イチカのカで、ネイチャーポジティブ経済を創造する

～創出される効果～

- 新たな地域ブランドの確立
- 関係人口・交流人口の拡大
- 自然環境の保護

